

## 2019 年度実施概要

## 学校名

気仙沼市立唐桑幼稚園
------------

## 採択活動名

秋の宝物を見付けよう！
-------------

## 取り組みの概要

**1 実施日**

10月～11月

※秋探し探検：10月上旬～11月上旬（5回）

魚市場見学：11月1日、あきまつり（幼稚園ウィーク）：11月13日

**2 対象**

気仙沼市立唐桑幼稚園 全園児（年長11名，年中17名，年少11名）

**3 ねらい**

- ・山や海の自然にふれ，親しむ。
- ・体験したことを遊びや人との関わりの中で表現する。

**4 活動内容**

## (1) 秋探し探検

園周辺の山や野原への散歩を通しドングリやまつぼっくりなどの秋の自然物を見付け，“秋の宝物”として遊びに取り入れた。自然物に対する興味や関心が高まってきたことから，次に海（馬場の浜）での“秋の宝物探し”を行った。流木を見付けて「山の木はザラザラなのに，海の木はツルツルだね」と山と海の自然物の違いに気付いたり，ドングリと貝殻を使って料理ごっこをしたりするなど，“秋”を通して山と海をつなぎ合わせて遊ぶ姿が見られた。

## (2) 魚市場見学

秋の自然に興味をもっていることから，年長児クラスでは“秋の旬の魚”を予想し，自分たちの予想を確かめるために魚市場で“秋の宝物インタビュー”を実施した。実際に予想していた魚を見付けて写真を撮る仕事をしたり，店の人に手作りマイクを向けて「秋の美味しい魚は何ですか？」と聞いたりする姿が見られた。また，昼食時には全園児で“はらこめし弁当”の会食を行った。幼児たちから「鮭とイクラは秋の美味しい魚だったよね！」「海の近くで食べるとおいしい！」などの感想が聞かれ，季節や気仙沼の海の豊かさを感じながら味わうことができた。

## (3) あきまつり（保護者や地域の方々を招待したお店屋さんごっこ）

秋探し探検や魚市場見学を振り返り，各クラスの興味や関心，気付きを取り入れながら，サンマの塩焼き屋さんやお寿司屋さんなど，秋のお店屋さんごっこへと発展させた。「サンマは炭で焼くとおいしくなるって言っていたよ」と網や段ボールで焼き台をつくったり，お寿司のオススメを聞かれると「サーモンとイクラです」と答えたりするなど，見たり聞いたりしたことを遊びの中で生かす姿が見られた。他にも，やきいも屋さんや秋の自然物を使ったゲームコーナーなど，山や海での体験を生かした遊びを通して気仙沼の自然の豊かさを感じることができたと感じる。